

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

子宮頸部円柱上皮細胞の性周期による形態的变化

2. 研究の対象患者

2024年1月～12月までに総合病院旭中央病院婦人科を受診し、子宮頸部細胞診検査を実施した者の標本を対象とする。但し、子宮頸部腺細胞が出現していないものは除外する。

3. 研究の対象期間

2024年1月～2024年12月

4. 研究の概要

子宮頸部円柱上皮細胞(以下、頸管円柱上皮)は、性周期により、性状の異なる頸管粘液を分泌することが知られている。しかし、頸管円柱上皮細胞の性周期による形態学的変化については、十分に検討されていない。研究者は日常的な細胞診標本の観察において、頸管円柱上皮の細胞形態に差異があることに着目した。このことから、性周期によって頸管円柱上皮の形態が変化する可能性があるのではないかと考えている。

上皮内腺癌は30～40代に好発し、子宮頸部腺癌の前駆病変として位置づけられている。上皮内腺癌には、通常型、腸型、胃型、類内膜型、明細胞型、漿液型、重層性粘液産生上皮内病変など多様な組織型が存在し、診断上の形態的識別が重要である。

本研究により、性周期に伴う正常頸管円柱上皮の形態的变化が明確になれば、細胞診における「形態的な正常範囲」がより精密に定義できるようになると期待される。その結果、性周期に合致しない形態を呈する細胞の中から、上皮内腺癌をはじめとする前癌病変を早期に識別できる可能性がある。すなわち、本研究は、婦人科細胞診における基礎的な知見を提供する可能性があるとともに、診断精度の向上および前癌病変の早期発見に寄与する意義を有している。

5. 研究実施予定期間

2026年1月15日～2027年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、婦人科細胞診標本に対応する以下の情報を収集・利用する。対象者の性別(女性)、年齢、性周期(例:増殖期・分泌期・月経周期など)、妊娠歴、病歴、治療歴でこれらの情報は、頸管円柱上皮の形態的特徴と性周期等の背景因子との関連を明らかにするために必要な最小限の項目である。一方、個人を特定できる情報(生年月日、カルテ番号、住所、氏名)は収集せず、匿名化した状態で解析を行う。収集した情報は、解析前に個人情報を削除し、新たな番号をつけ、個人が特定できないように匿名化する。

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究に関して、研究対象者またはその関係者からの質問、相談、苦情等が生じた場合には、速やかに研究責任者が対応する。

8. 外部への試料・情報の提供

総合病院国保旭中央病院臨床病理科に保管してある標本を外部に持ち出さず臨床病理科で鏡検する。利用する臨床情報は、鏡検終了後に研究者により速やかに匿名化(連結可能匿名化)を行い、対応表は総合病院旭中央病院臨床病理科で保管する。

9. 研究組織

千葉科学大学危機管理学部保健医療学科 池上喜久夫
総合病院国保旭中央病院臨床病理科 長谷川隼

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者： 臨床病理科 長谷川隼
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)

(研究代表者)

千葉科学大学危機管理学部保健医療学科 池上喜久夫